

古典はつまらない、暗記は苦手、 どこがおもしろいのかよくわからない……。

本展はそんな「古典」に苦手意識をもつ皆さんにこそ、ご覧いただきたい展覧会です。
一見むずかしい印象の「古典文学」を、人気作家たちの際立つ個性と現代的な再解釈によって蘇らせ、
目からウロコの新しい古典文学を「NEO古典主義」と名付けて皆さんにお届けします。

漫画や絵本、イラストレーション作品では、この史代「ぼおるぺん古事記」、横山裕一「ネオ万葉」、
今日マチ子「百人一首ノート」や長崎訓子の「猫の夢(更級日記より)」、
石黒亜矢子の「絵本 御伽草子 付喪神」(町田康/文)を、現代語訳では橋本治の手掛けた「桃尻語訳」シリーズや、
アニメーションでは山村浩二が「雨月物語」から想を得た「ゆめみのえ」、
落語をモチーフとした出世作「頭山」などジャンルを超えて、広く日本の古典文学に取材した
当代人気アーティストの作品が一堂に会します。

古典は苦手という方も、古典文学が大好き!というあなたも、是非一度「NEO古典」の世界をのぞいてみませんか?

出品作家と作品

この史代(漫画家):「ぼおるぺん古事記」原画

山村浩二(アニメーション作家):「古事記 日向篇」「絵物語 古事記」原画ほか
アニメーション「ゆめみのえ」「頭山」上映

関口恵美(彫刻家):スサノオ誕生

横山裕一(漫画家):「ネオ万葉」原画

今日マチ子(漫画家):「百人一首ノート」原画

長崎訓子(イラストレーター):「猫の夢(更級日記より)」「道成寺」原画

石黒亜矢子(絵描き):「絵本 御伽草子 付喪神」「里見八犬伝」原画

橋本 治(作家):「桃尻語訳枕草子」「義経伝説」「双調平家物語」草稿、自筆原稿ほか



この史代
「ぼおるぺん古事記(一)」



山村浩二
「ゆめみのえ」



横山裕一
「田子の浦(『ネオ万葉』より)」



今日マチ子
「百人一首ノート」



長崎訓子
「猫の夢(更級日記より)」

目からウロコ、

関連イベント

※イベント参加には展覧会の観覧券(または半券)が必要です。
※詳細は文学館ホームページをご覧ください。

● オープニング記念トーク 読み継がれる「ものがたり」 —— NEO古典主義とは何か

1300年以上も前の「古事記」成立以来、
遺されたテキストを私たちは今日のように解釈するか。
古典文学に精通するふたりが読み解きます。

出演: たられば(編集者)×渡辺祐真(書評家)
日時: 4月26日(日) 14:00~16:00
会場: 町田市民文学館2階 大会議室
定員: 80名(申込順)

申込
1次受付: 4月1日(水) 正午~6日(月)19:00
イベシス(コード:260407C)で受付。
2次受付: 4月7日(火) 正午~
イベントダイヤル(042・724・5656)またはイベシスへ。

● 文学講演会

「今は昔 日本語のこだまを聴く」 —— 古典文学の中のリアル」

『ギケイキ』『口訳古事記』『口訳太平記』と精力的に
古典文学の現代語訳を手掛ける作家・町田康氏の考える
古典再解釈の意義とは?

出演: 町田 康(作家)
日時: 5月17日(日) 14:00~16:00
会場: 町田市民文学館2階 大会議室
定員: 80名(申込順)

申込
1次受付: 4月1日(水) 正午~6日(月)19:00
イベシス(コード:260407B)で受付。
2次受付: 4月7日(火) 正午~
イベントダイヤル(042・724・5656)またはイベシスへ。

● 担当学芸員による展示解説

4月25日(土)/5月27日(水)/6月28日(日)
各日14:00から(40分程度)
※展示室に直接お越しください
※4月25日、5月27日は観覧無料のため観覧券は不要です



● 映画上映会「おーい、応為」(上映時間122分)

天才浮世絵師・北斎の娘として、波乱万丈の人生を
歩みながらも絵の才能を開花させていくお栄(応為)の物語。

日時: 5月6日(水・祝) 18:30~20:30
会場: 町田市民フォーラム3階 ホール
定員: 150名(申込順)

申込
1次受付: 4月1日(水) 正午~6日(月)19:00
イベシス(コード:260407A)で受付。
2次受付: 4月7日(火) 正午~
イベントダイヤル(042・724・5656)またはイベシスへ。

● 落語&トーク

「落語で聴く! 効く!! 古典文学まるわかり!」

大学院で古典文学を専攻し学芸員の資格も持った
異才の落語家・桂竹千代。落語で語る古典文学で、
あなたの苦手意識も一刀両断!

出演: 桂竹千代(落語家)
日時: 6月5日(金) 18:00~
会場: 町田市民フォーラム3階 ホール
定員: 180名(申込順)

申込
1次受付: 5月1日(金) 正午~12日(火)19:00
イベシス(コード:260513A)で受付。
2次受付: 5月13日(水) 正午~
イベントダイヤル(042・724・5656)またはイベシスへ。

● 折本ワークショップ

「マイご朱印帳を作ろう!」

主として鎌倉時代以降の経典などに用いられる
簡易な製本形式である「折本」を応用して、
自分だけのご朱印帳をつくりましょう!

講師: 植村愛音(造本家/古本と手製本ヨンネ主宰)
日時: 6月13日(土) 14:00~16:30
会場: 町田市民文学館2階 大会議室
定員: 20名(申込順)
材料費: 2,000円
申込: 5月1日(金) 正午~6月11日(木)19:00
イベシス(コード:260501A)で受付。

施設概要

町田市民文学館ことばらんど
〒194-0013 東京都町田市原町田 4-16-17
TEL:042-739-3420 FAX:042-739-3421
JR 横浜線町田駅ターミナル口から徒歩8分/
小田急線町田駅東口から徒歩12分



@machida_kotoba
で最新情報配信中



あの作品がこうなった!?

会期中1階喫茶けやきでは、コラボメニューをご用意しております。